



mwc-cmm.org

MWC 地域代表者によ
って、2026 年 1 月
25 日、または 2026 年に各
会衆にとって都合の良い
ときに準備され
ます。

アナバプテスト世界連盟日曜日 礼拝リソース

<p>1</p> <p>テーマと テキ スト</p>	<p>a. テーマ: 連帯</p>	<p>b. このテーマを選んだ理由 : c. 聖書箇所を選択肢 :</p> <p>を生きる」ことが私たちのアイデン ティティの中核を成すと記されていま す。私たちは、宗派の垣根を越えて、 地域や世界各地のアナバプテストの仲間 たちと、より広くキリストの体である教会と、 そして平和を築き正義を追求するパート ナーたちと連帯しています。</p> <p>連帯とは、キリストの体の中で私たちが 築く繋がり別の言葉です。行動を通して 表現される一致は、私たちの努力を超 えて響き渡ります。私たちは声を上 げ、資金を投じて支援します。共に立ち 上がり、互いに支え合います。そして、誰一 人取り残されることのないよう、細心 の注意を払います。</p>	<p>MWCのキャッチフレーズ には、「一致 旧約聖書： ミカ書 6-7章 詩篇： 詩篇40:1-11 福音： ルカ10:25-37 新約聖書： コリント人への第一の手 紙 13:13</p>	<p>d. テーマと聖書本文の関係：</p> <ul style="list-style-type: none"> 「公正に行動し、 「慈しみを愛し、謙遜に歩みなさい」 は、困っている人に寄り添 う方法を教えています。詩篇 <p>作者は、 神の祝福は「大集会」で祝われ ます。私たちが受けた祝福を、私 たちが連帯している人々に広めるの と同じように。善きサマリア人 は、</p> <p>高価な連帯と「価値がある」人についての私 たちの考えをひっくり返す。パウロの 手紙は愛が何よりも重要であることを私 たちに思い出させる</p>
------------------------------------	------------------------------	---	--	---

2 祈り リクエスト

MWCからの祈りのお願い・私たち
はあなたの創造とそのすべてのものに感謝します
地上と天空の美しさ多様性。
あなたの連帯への呼びかけは、あなたが創造した
すべてのものに
及んでいます。主よ、私たちは、
困難な時に隣人と共に歩んでください。私たちは、意見の異なる
人々とさえも地上に神の国を築く、力強い人間の連帯を実践
するあなたの勇気と力を求めます。聖霊の変革の力に耳を傾け、
応答し、他者を支援するために自らの選択の自由を広げる
勇気を持つことができるよう、共に祈ります。私たちは、隣人との連帯
を誓います。

世代的に、雇用で苦戦している私たちの周りの若者たち
の話に耳を傾け、彼らから学ぶこと。役割を失って落胆している
かもしれない年長者たちの話に耳を傾け、彼らから学ぶこと。
そして、忙しく混沌とした世界で孤独に苦しむすべての人々から
耳を傾け、彼らから学ぶこと。

- 平和の推進者として、私たちは、コミュニティ内外を問わず、戦争の
犠牲者のために連帯し、破壊だけをもたらす組織的暴力の終結
を要求します。
- MWC の祈りのページに述べられているように、MWC ファミリ
ーの現在の必要のために祈ってください: [mwc-
cmm.org/prayers](http://mwc-cmm.org/prayers)

歌 提案

曲は特に記載がない限り2022年版のものです

アフリカ #22
Somlandela / We will follow / Je te suivrai /

引き続き進めていきます。

アジア: 12位
イエスにおいて私たちは兄弟です /
イエス・キリストにおいて私たちは一つの家族です

ヨーロッパ (新規)
[私たちは正義を望み、平和を望みます](#)

ラテンアメリカ: 第27位 (2015年)
抵抗の歌

北米: #39
あなたは一人じゃない / あなたは一人じゃない /
あなた一人じゃありません

歌のビデオは、mwc-cmm.org/awfs でオン
ラインでご覧いただけます。

これらの曲を公共の集会で使用する前に、所属する教
会の著作権プロトコルを確認してください。



4

このパッケージ内の リソース

このパッケージには

- 集会と祝福のための典礼とシンボル・説教
- ヨーロッパからの証言・什一献
金と献金に関する提案
- お祝いのアイデア
- 子供向けアクティビティ
- ポスター

追加 リソース

mwc-cmm.org/awfsをご覧ください

- ビデオ・
写真・お祝
いマップ
- アナバプテストの歴史的背景

mwc-cmm.org/en/stories/メノナイト教徒の誕生秘話/

提供

ランチ提供1回

- MWCは会衆に特別な
アナバプテスト世界連盟の日曜日に、世界中のアナバプテスト教会のために献金をお願いします。一つの方法としては、MWCの中核となる奉仕活動と委員会を支えるために、各会員の皆様に、それぞれの地域で少なくとも1回の昼食代を寄付していただくようお願いすることです。これは、世界中のMWC加盟教会にとって、負担の少ない金額です。



- アナバプテスト世界フェローシップサンデーの特別献金の時間を祝うためのその他のアイデアについては、[15 ページ](#)をご覧ください。



メノナイト教会ラジナンガオン、インド



福音派メノナイト教会「ベテル」、アルゴルスハイム、フランス



福音主義の遺産、ジンバブエ

このパッケージに含まれる聖書のテキスト、折り、賛美歌の提案、説教のアイデア、証し、その他の資料は、MWCのメンバーがそれぞれの地域における経験に基づいて作成したものです。この教えは必ずしもMWCの公式見解を反映するものではありません。

連絡先：

ホセ・アレイス、MWC ヨーロッパ地域代表、
ジャネット・プレナート、MWC地域代表コーディネーター

✉ josearrais@mwc-cmm.org

✉ janetplenert@mwc-cmm.org

📷 お祝いに関する写真や感想をphotos@mwc-cmm.orgまでお送りください。



集会と祝福のための典礼とシンボル



前方のテーブルに、世界地図の上（または地球儀の横）に大陸ごとに異なる色のキャンドルを 5 本置き、中央にキリストのキャンドルとして白いキャンドルを 1 本置きます。

礼拝の始めに、ろうそくに火が灯されるたびに各大陸の名前を唱え、各大陸の兄弟姉妹に感謝の意を表します。

あらゆる教会の光源として、最後に（または最初に）キリストのキャンドルに火を灯してください。

礼拝中または礼拝の終わりには、世界のさまざまな地域の姉妹や兄弟たちを祝福するための祈りが捧げられることもあります。

世界中のアナバプテスト家族とのつながりを示す追加リソース:

- 祈祷と祝福の言葉を使う
「お祝いのアイデア」の下でのキャンドル点灯
- マルチメディアリソースセクションにある挨拶ビデオを見る
- MWC マップを表示します（ポスターまたはインタラクティブなオンラインバージョンとして）。

集会の祈り

詩篇40篇1節から11節に基づく

主よ、私たちはあなたが私たちの叫びを聞いてくださることを知っており、あなたのために場所を作るために私たちの精神を準備しながら、辛抱強くあなたを待ちます。

あなたは私たちを泥沼から引き上げ、私たちの足を岩の上に置き、しっかりと立つ場所を与えてくださいました。

あなたは私たちの口に新しい歌、私たちの神であるあなたへの賛美の歌を与えてくださいました。

あなたは私たちに、他の人々をあなたに導くよう呼びかけられました。私たちに對するあなたの配慮を目にする人々は驚き、あなたに信頼を置くでしょう。

ああ主よ、あなたはあなたに信頼を置く人々に對して忠実です。

あなたは不思議な業を行われ、わたしたちのために素晴らしい計画を持っておられます。

あなたの偉業を語り継ぐことは決して終わらない。あまりにも多すぎて、言い尽くせないのだ。

主よ、あなたが私たちに求めているのは犠牲や全焼の供え物ではなく、あなたに同調する私たちの精神、あなたの意志を行いたいという願い、あなたの律法が私たちの心に刻まれていることです。

主よ、私たちが集まる時、あなたの救いの御業、あなたの限りない愛、そしてあなたの尽きることのない誠実さを宣言します。

あなたは私たちの助け手であり救世主です。

私たちはあなたに崇拜し、仕え、祈ります。

アーメン。



ようこそ…

心の貧しい皆さんを歓迎します！
悲しんでいるあなたへようこそ！
正義に飢え渇くあなたを歓迎します！
平和を追求する皆さんを歓迎します！
イエス・キリストの名のもとに苦しみ、耐え難いことに耐えている
皆さんを歓迎します！

神はイエスを通して皆さん一人一人を歓迎します。
私たちとともにこの時代の重荷を負いたいと思っているのは彼なの
です。
主の存在に心を開き、主の御霊の恵みによって、主の喜びが今朝も私
たちを包み込みますように。

—メノナイト・エディションズ社『礼拝のための言葉と祈り』よりナ
タリー・ワーナー。

悔い改め - 許し

主よ、私たちはあなたを崇拜し、賛美し、あ
なたの前に謙虚に立ちます。
私たちはあなたが世界に対するあなたの計画を達
成したことを認識しています。
私たちは、新しい人類の約束を見ることを拒否
したことを告白します。
私たちはこの世の事柄に圧倒されています。
私たちは他の訴えによって私たちの
約束から気をそらされています。
私たちは、偏見、恐怖、短期的な考え方の犠牲者なの
です。
私たちをキリストの姿に変えて下さるようお願い申し上げます。
すべての人々、すべての人種、すべての国家が平
和と相互理解の中で共に成長できるよう、私た
ちをあなたの奉仕に迎え入れ、お使いいただきます
ようお願い申し上げます。
私たちは、私たちの民を現実のものにできる
唯一の存在であるキリストの名において、こ
れらのことを願います。

—メノナイト・エディションズ社『礼拝のための言葉と祈り』より、
ミシェル・ゾマー著。

信仰告白 - 誓約 -
奉献

不安の中で生きる人々と分かち合うために 神から生まれたすべての
人は、主の霊の賜物を受け、イエス・キリストにおいて互いに
愛し合う一つの体となるよう召されています。そして、そのような
愛によって、金銭や物品だけでなく、福音に従い、自らの血と命
を通して主の模範に従うことで、隣人を助ける備えができていま
す。彼らは可能な限り慈悲と敬虔さを示します。彼らは他者の
必要を心に留め、見知らぬ人を家に迎え入れます。苦しむ人を慰め、
困っている人を助け、裸の人に衣服を与え、飢えた人に食事を
与え、貧しい人から目を背けません…

—メノナイト版の『礼拝のための言葉と祈り』より、メノ・シモンズ
(1496年～1561年)より。

供物のための祈り

私たちの神、私たちの父、貪欲のない光の父よ… 私たちに、この地上で
はなく天国に宝を築くことを教えてください。

はかない物質的な所有物ではなく、ただあなたにのみ信仰
を置くよう教えてください。あなたが教えてくださったよ
うに、あなたの御心が天でなされるとおり、この地上でも行わ
れますように。今、あなたが私たちに託してくださった富の
一部を捧げます。この捧げ物が、この地上におけるあなたの御
心の実現に貢献することをお許しくくださいますようお願いい
たします。
アーメン。

—ニコラス・ウィドマー、メノナイト・エディションズ『礼拝のための
言葉と祈り』より。



執り成しの祈り

私たちに力を与えてください

神、

私たちに、お互いを信頼し、あなたの創造物を苦痛から解放する持続可能な方法を選択する力を与えてください。

知識を共有し、未来の世代が生き続けられる持続可能な解決策を模索する力を与えてください

持続的に成果をもたらす決定と行動をとるために協力する力を私たちに与えてください。

あなたの聖霊を通して
私たちに力を与えてください

見たあなたはそれが良かった。

明後日も初めと同じように。

あなたの王国が来ますように、そしてあなたの栄光が永遠に輝きますように。

アーメン。

—この祈りは、オランダのハーレム市議会牧師ヘルマン・ハイン氏の著書『黄金のカエルと踊る：地球温暖化と主の祈り』から抜粋したものです。

精神的な反省のための詩

悲しみの孤独を分かち合うために、哀悼部隊を立ち上げたいと思っています。本当に重要なことではないことを言うのではなく、ただ一緒にもう存在しないものを悼むためです。

私は、哀悼旅団を立ち上げたいと思っています。グループ、クラブ、または時間に関係なく、必要なだけ滞在できる一人の人です。

たとえそれがいつまでも続くとしても。

私は哀悼部隊を立ち上げたいと思っています。もしよろしければ、ハンカチを余分に用意して、静かにうなずき、そして時々深く暗いため息をつきながら、私は参列します。

少しの間、落ち着いて息をつくためかもしれません。

—Annegreet van der Wijk、『満潮と干潮：詩、祈りなど』より、Doopsgezind Bruderschapshuis Dopersduin 発行。

アンネグリート・ファン・デル・ワイクは、オランダのドゥープスゲジンデ・ゲメンテ・ブッスム・ナールデンの牧師です。

祝祷

神様、私たちは祈ります。何も失われることのないよう、私たちを探し出し、私たちを見つけてください。

そうすれば、

私たちは見つかります。

神様、私たちは祈ります。

あなたの霊によって私たちにインスピレーション

を与え、再発見し、整理し、浄化する時が来たと感じさせてください。

私たちに息を吹き込み、吐き出させてください。そうすれば、私たちは新たに生きることを決意し、あなたとともに、あなたを通して生きることを敢えてし、平和の言葉となることができます。

—ハンス・マルセイユ、『満潮と干潮：詩、祈りなど』より、Doopsgezind Bruderschapshuis Dopersduin 出版。



説教

シェアする人はより多くを得る

ミカ6:8

私はジュラ山脈のモロンにあるルースリ家のイチゴ畑で初夏の太陽の下、小さな茂みをくまなく探して、最も熟した最高級のイチゴを探します。

この美しい6月の朝、私の頭に浮かんだのは、来たる秋の女性ウィークエンドのモットー、「分かち合う人はより多くを得る」でした。

この講座は、Stop Povertyの「Just People」コースから着想を得ています。私たちが議論したい価値観は、慈善、持続可能性、正義、そして慈悲です。主要聖句はミカ書6章8節です。

「人よ、何が善であるかを神はあなたに告げられた。主があなたに求めているのは、ただ正義を行い、慈愛を愛し、謙遜に神とともに歩むことだけだ。」

深呼吸しましょう。神はすでに戒めの中で大切なことを定めてくださっています。付け加えることはありません。

今の仕事は、女性の週末のモットー「分かち合う者はより多くを得る」とミカ書6章8節を組み合わせることです。

このモットーは、主張する内容だけでなく、矛盾しているという点でも私たちに挑戦を投げかけます。一部は何かより少ないものであり、より多いものではありません。少ないということは、より少ないものであり、より多いものではないのです。

何かが逆説的で一見無意味に思える場合、それはより高い意味を指し示している可能性があります。

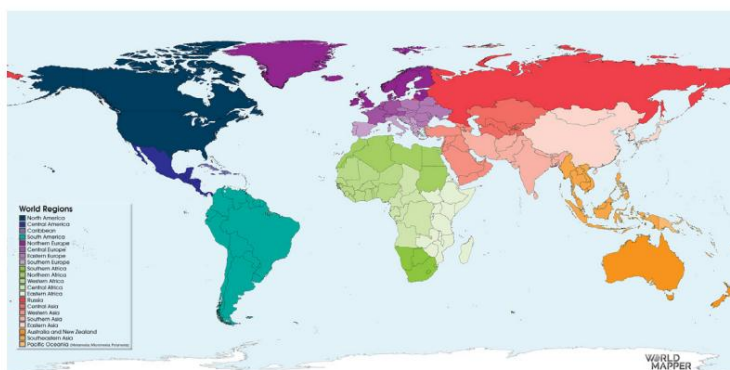
それは何を意味するのでしょうか？

太陽が照りつけるモロンで額に汗して摘んだイチゴを分けたり、あげたりすると、イチゴは減る。増えるわけではない。だから「増える」というのは、

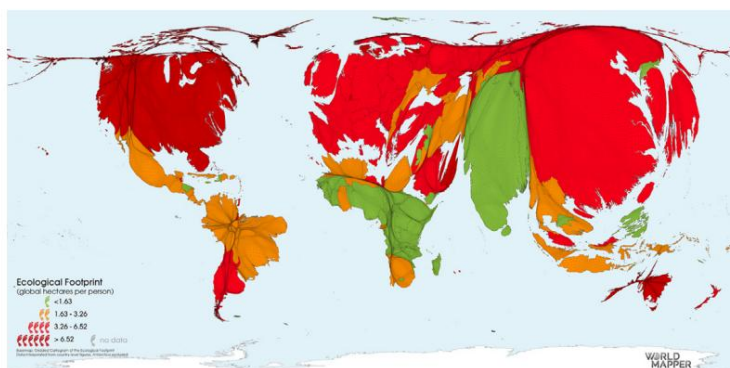
イチゴに付加価値をつけることはできるが、その付加価値はどうなるのだろうか？

場面転換

これは私たちが知っている世界地図です。色は大陸を表しています。



これは自然の地形が歪められた世界地図です。ヨーロッパ、北米、そしてアジアの一部は、相対的に多くの天然資源を消費しているため、地図が大きく誇張されています。

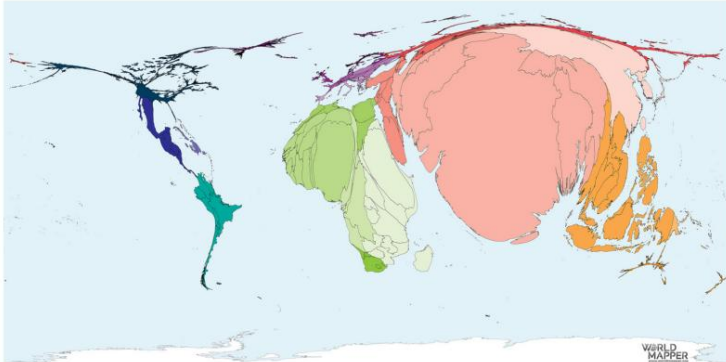


しかし、世界の資源は有限です。

食料生産、一人当たりの居住空間、鉱物採掘など、一部の人が消費するものを、他の人々は持っていません。だからこそ、彼らは縮小したのです。



この地図では、アフリカ、インド、パキスタンが拡大表示されています。これは子供の栄養失調の地図です。拡大表示された大陸には栄養失調の子供がはるかに多くいますが、ヨーロッパとアメリカにはほとんどいません。資源の不平等な分配は事実です。



スイスの作詞家、マニ・マターは、この知識を独創的で適切な方法で短い詩や歌にまとめました。

「裕福な人たちは、裕福でない人
たちが裕福であればさらに
幸せになれるだろう。しかし、
裕福でない人たちがいなか
れば、それは不可能だ…」

私たちスイス人は本当にとても裕福です。スイスは世界で最も豊かな国の一つです。私たちのほとんどにとって、ほとんど困窮することはありません。地球の反対側では、私たちの物質的な豊かさを保証するために、人々は不安定な状況下で懸命に働いています。私たちの豊かさには代償が伴いますが、その代償を払うのは必ずしも私たち自身ではありません。

もし世界中で物資がより均等に分配されれば、誰もがより豊かになるでしょう。しかし、私たちはどうすれば、持っているものを分かち合うことができるのでしょうか？

幸福に関する研究と国連の世界幸福度報告によれば、それは非常に単純なことです。分かち合うことで私たちは幸せになれるのです。

他者の幸福を高めることで、自分自身の幸福も高まります。ですから、南半球の栄養失調を減らし、人々がより多くの資源、食料、教育機会などにアクセスできるようになれば、私たちはより幸せになれるでしょう。

そういう意味では、共有するとより多くのものが得られます。

イチゴ畑に戻る

自分で摘んだイチゴを誰かに分け与え、届けると、その人を幸せにすることができます。受け取った人は喜び、そして贈り物を受け取る喜びを分かち合えます。そして、その瞬間を目の当たりにすることで、私自身も幸せを感じます。

さらにまだあります。

どういわけか、まだ完全に満足できません。

確かにそこには多くの真実が含まれていますが、古代ギリシャ人の感覚からすれば、実に高潔な洞察と言えるでしょう。しかし、ここで話題にしているのはメノナイト派の女性の週末の話です。

もう一度、ミカ書6章8節を引用します。

「人よ、何が善であるかを神はあなたに告げられた。主があなたに求めているのは、ただ正義を行い、慈愛を愛し、謙遜に神とともに歩むことだけだ。」

ミカによれば、次のことが重要である。

a) 法律を遵守する（一部の翻訳では、正義を実践し、正しいことを行い、不正を許さないと訳されています）

b) 同じ人間に対して人道的であること（一部の翻訳では連帯や配慮を意味するとされている）

c) 神との絶え間ない交わりの中で生きること（一部の翻訳では「神と共に注意深く歩み、理解と心に留め、神を敬う気持ちで生きる」となっています）。

このように生きる人々に神は慈悲を示すでしょう。



これは実践的で生きた信仰に焦点を当てたテキストです。
詳しく見てみましょう:

正義と義

正義というテーマは聖書全体に一貫して流れています。正義について考えるとき、私たちはまず、誰もが当然の報いを受けるべきであり、誰もが自分の悪行に対して正当な罰を受けるべきだと考えるかもしれません。

しかし、神の正義は主に裁きに関するものではありません。神の正義とは、生命を肯定する条件、すなわち人々と神と被造物との間にバランスのとれた関係を創造することです。私たちは誤りを犯す存在であるため、神の正義は慈悲と深く結びついています。

これは個人に関係するだけでなく、社会全体の共存を視野に入れた正義です。私たちは、7年を7倍するごとにすべての負債が免除されるヨベルの年の例を考えます（レビ記 25章）。

人間であること、連帯を示すこと、愛情を与えること

私たちの多くは、自分たちから見れば何も持っていないのに、その瞬間に持てるわずかなものを客と分かち合いたいと願う人々から、もてなしを受ける時の気持ちを知っています。それは深く感動的で、時には恥ずかしくさえ感じます。なぜなら、その瞬間に何もお返しできないからです。

しかし、おそらくあなたもこの例に倣おうと決心するでしょう。最も貧しい人々の例を通して、私たちは分かち合うことを学び、ドミノ効果が生まれます。

神と常に繋がりながら生き、神と共に歩む

これは神が道を導き、我々はそれに従うことを意味します。

どこへ行くかは私たちが決めて神がそれに従うのではなく、むしろ神が私たちが神と共に注意深く歩むべき道を用意してくださるのです。

気をつけずに気を散らしてしまうと、途中で曲がり角を見逃し、突然下草の中に迷い込んでしまうかもしれません。

「神と常に交わりながら生きる」とは、理想的には、小さな子供のように神の手を取って、できるだけしっかりと握り続けることを意味します。

紀元前700年、ミカが心配していたのはまさにそれだったんですね。イエスと共に生きた今日においても、それは同じことなのでしょうか？

ミカ書 6 章 8 節のように神と共に生きる上で大切なことを簡潔にまとめ、犠牲と分かち合いの問題にも触れている聖句を探していたところ、ヘブル人への手紙の一節に出会いました。

ヘブライ人への手紙は、当初の熱意が薄れつつある会衆に宛てられたものです。ですから、何が大切かを思い起こさせる必要があります。13章の結びの勧告にはこう記されています（13:15）。

「ですから、私たちは、イエスを通して、賛美のいけにえ、すなわち、御名を告白する唇の実を、絶えず神にささげましょう。」

そして、それをとても美しく要約する詩が続きます（13:16）。

「善行を怠らず、また持っているものを与えることを怠ってはならない。そのような犠牲は神に喜ばれるからである。」



ドイツのレーゲンスブルクにあるメノナイト教会での礼拝後の持ち寄りランチ。



私たちが善行をし、分かち合うとき、神は喜んでくださいます。「分かち合う者はより多くを得る」という格言を、私たちはこのように理解しています。

「さらに」とは、私たちの主イエスとの密接なつながり、細心の注意、感謝の気持ちを込めた質問、私たちが何をどのように分かち合うべきか、分かち合えるかについて耳を傾けることです。

そして、私たちが祈り、歌い、耳を傾けるとき、分かち合うことは心の奥底から湧き上がる欲求であると感じます

私たち自身です。それは、神と共に注意深く歩み、私たちの強さ、私たちの資源、私たちの信仰の経験、私たちを私たちたらしめているすべてのものを他の人々と分かち合うことの必要性です。

ーマティルド・ガイガーは、スイスのシャンツリ福音メノナイト教会の会員です。

2023年10月1日に彼女が行った説教から抜粋

私の中のサマリア人 ルカ10:25-37

善きサマリア人の話は誰もが知っています。この話全体の教訓は実にシンプルです。イエスはこのたとえ話の後に、この物語を的確に要約しています。「それでは、あなたも行って同じようにしなさい」(10:37)。



ツアーグループは、500周年を記念してチューリッヒで学者からメノナイト派の歴史について学びます。

しかし、私は善きサマリア人のたとえ話に何らかの形で当てはまる物語を思いつきます。

昨年の秋、ガーナ出身のアルフレッドは神学の研究の一環としてバーゼル大学に1学期留学し、その間5か月間私の両親と一緒に暮らしました。

スイス滞在中に、彼はバーゼル駅のエスカレーターで人が落ちるのを目撃し、非常に動揺して二度帰国した。

彼を特に悩ませたのは、転落した人々が負った怪我ではなく、彼の隣には犠牲者を助けようとする人がほとんどいなかった、あるいは全くいなかったという事実だった。

これは、市民としての勇気が結局それほど単純ではないことを示しています。このケースのように、状況が実際には危険を伴わないとしても、愛することを決意するには多大な努力が必要です。多くの人が「行って、あなたも同じようにしなさい！」と決意できないようです。

ですから、おそらくこの聖書のテキストを詳しく調べる価値があるでしょう。

このたとえ話では、ほとんどすべてが逆転します。物語の主人公は祭司でも、レビ人でも、普通のユダヤ人でもありません。

いいえ、主人公はサマリア人であり、当時のユダヤ人の観点から見ると、道に迷い、誤った信念に従った人です。

物語の後、イエスの問いに学者が答える時、歯ざりする声が聞こえてきそうです。「三人のうち、襲われた人に隣人として接したのは誰ですか」(10:36)。彼は「サマリア人です！」と答えることができず、「彼を助けた人です」(10:37)と答えます。



もしイエスが自らこの物語を語ってくれたとしたら、今日、私たちは誰を英雄として受け入れることに抵抗を感じるでしょうか。私たちの社会には、多かれ少なかれ広く拒絶されている人々があります。たとえ望まなくても、私たちにもためらいや偏見があり、それを克服するのは容易ではありません。

イエスは、聞き手を不安にさせるような形でこの物語を語ります。ですから、少し時間を取って、サマリア人の役を、あなたにとって不安な人物に置き換えて考えてみてください。

説教の残りの間、この人物またはグループのことを念頭に置くようにしてください。

善きサマリア人の物語が語られるとき、通常は人類に対する思いやりが強調されます。

しかし、中東文化の専門家であるケネス・E・ベイリーは、私が準備している間に、愛する勇気の欠如がこの物語の中でどのような役割を果たしているかを私に示してくれました。

まず祭司から。彼はおそらくエルサレムでの2週間の奉仕を終え、エリコへ帰る途中だったのだろう。もし彼が、生きているのか死んでいるのかもわからない負傷者に近づいていたら、儀式によって汚れてしまう危険があっただろう。それは長い浄化の過程を伴い、祭司自身、召使、そして家族は、不快な結果に苦しまなければならないだろう。

もし彼が自分自身を汚し、その後、清めの儀式を逃れていたなら、彼は汚れた者として祭壇で奉仕していたということになり、告発されてさらに悪い結果を招いたかもしれません。

したがって、司祭にとって、この状況にはある種の危険や不都合が潜んでいた。彼には明らかに必要な勇気が欠けており、状況を見捨てる方が楽だった。

バーゼル駅のアルフレッドの話では、おそらく助けなかった人たちの多くは

理由があった。「今止めたら会議に遅れるし、どうせ上司に怒られているし」「応急処置の知識がほとんどないから、何もできなかったらどうしよう。みんなに見られちゃって、恥ずかしい！」

祭司の次には、神殿で祭司の助手を務めるレビ人がいます。ケネス・ベイリーは、レビ人は、自分の少し前に祭司がこの道を歩いたことを知っていたに違いないと考えています。レビ人は祭司に従属していました。祭司が本来あるべき行動を取らなかったことを暴露すべきだったのでしょうか？それにも、かなりの勇気が必要だったでしょう。

さらに、すでに通り過ぎた祭司の方が実際には善悪をよく知っていたので、レビ人はほとんど後悔することなくそのまま進むことができました。

アルフレッドの場合も、こう自問した人がいるかもしれません。「なぜ私が助けなければならないのか？ 他にもたくさんいる。きっと私よりも上手くできるはずだ。」

そして今、サマリア人がやって来ます。

彼の行為は想像を絶するものです。彼には愛に基づいて行動する勇気があるのです。

当時のユダヤ人の敵であった彼は、負傷した男を介抱し、おそらくユダヤ人の町にある近くの宿屋に連れて行った。

当時この話を聞いた人々は、サマリア人が負傷した男を町外れに残して逃げ出すだろうと予想したでしょう。たとえこのユダヤ人を救ったとしても、サマリア人は復讐される可能性から逃れられなかったでしょう。

さらに、サマリア人は負傷したユダヤ人を宿屋に連れて行き、治療費を支払ったことで、命を救っただけでなく、おそらく自由も得た。強盗の後、彼には何も残っていなかったことを考えると、借金返済のために奴隷として売られていた可能性もあった。

サマリア人の行動の勇気は、愛が他人の人生をどのように変えることができるかを示しています。



イエスの質問に戻ります。「3人のうち、誰が強盗に遭った男の隣人になったでしょうか？」

イエスは質問を別の形で表現します。

どうやら、問うべきは「私の隣人とは誰か？」ではなく、「私は誰の隣人になるべきか？」であるようだ。

「永遠の命を得るために愛すべき人は誰だろうか？」ではなく、「誰に手を差し伸べればよいだろうか？誰を支えればよいだろうか？誰を頼りにすればよいだろうか？」

焦点は「永遠の命のために備えなければならない」というよりも、「共にいること」にあります。そして、このたとえ話における隣人への問いへの答えは、ほとんど革命的で、宗教、言語、民族の境界を打ち破り、学者を快適な領域から追い出します。それは、神が描く新しい世界のビジョンを示しています。

イエスは学者に言いました。「それなら、行って同じようにしなさい」(10:37)。

私たちは本来、神が求めるような方法で神と同胞の両方を愛する立場にはありません。それでも私は、困っている人を犠牲を払って助けるといふ、この神聖なビジョンに自らを向けたのです。怪我をした人に応急処置を施し、私たちが余分に持っているものを貧しい人に分け与え、人種差別に立ち向かい、疎外された人々に手を差し伸べ、抑圧された人々の側に立つのです。

残念ながら、世界は白か黒かではありません。

誰のために立ち上がるべきかを知るために必要な情報はすべて揃っていますか？状況は微妙なニュアンスを持つことが多く、何が正しいのかを一概に言うことはできません。

イエスは私たちが常にすべてを正しく行うことを期待してはいません。しかし、私は恵みだけで終わるつもりはありません。この物語のサマリア人は、ある役割を担うことができ、また担うべきです。



総会のメンバーは、ウクライナからの総会代表であるローマン・ラクバ氏の出発前に集まり、彼のために祈りを捧げた。

私にとって模範となる存在。謙虚さを教え、傲慢な態度を改めさせ、境界の先を見通す力を与え、一見不可能に思えても、すべての仲間を愛する勇気を見出すよう促してくれるはずです。

愛することは簡単なこともあれば、勇気が必要なこともある。

しかし、私たちが誠実に愛することができれば、隣人の人生を変え、彼らと同じ人間になることができます。

アンソプケンの歌詞で要約すると、「もし私たちが何かで有名になりたいのなら、それは愛であるべきです。」

アーメン。

—ハンナ・ザゲッサーは、スイス、ムッテンツにあるエヴァンゲリッシュ・メノニテンゲマインデ・シェンツリ教会の会員です。この説教は、2025年6月1日に会衆と共に海外からの来賓に向けて彼女が行った説教を基に編集されています。



ヨーロッパからの証言

レスボス島での連帯

「信仰と希望と愛、この三つは残る。その中で最も大いなるものは愛である。」

(コリント人への第一の手紙13章13節)

これら3つを実践するとどうなるでしょうか？それは忠誠心、期待感、そして連帯感です。そして、その中で最も大切なのは連帯感です。

そして今、信仰、希望、愛、この三つが残り、その中で最も偉大なのは愛です。

信仰は、単に信じられるもの、と理解されることがあります。しかし、パウロが信仰という言葉で意味しているのは、もっと深い関係です。それは、人々が互いに信頼し合い、忠実であり続けることを意味します。それは、人々同士、あるいは人々と神との間に築かれる信頼関係です。

信仰とは真に忠誠を意味します。

希望とは、私たちが手にしていないけれど、掴もうとする何かに向けられるものです。悲しいことに、何に希望を持てばいいのか分からず、希望を失ってしまう人もいます。

あるいは、望んでいるものが手に入らないように思えて失望するのです。

しかし、期待とは戦略のある希望なのです。

私たちに、希望を持ってどこへ向かうかという計画があります。藁にもすがる思いで進むのではなく、実現を待ち望む、あらかじめ用意された計画に向かって手を伸ばすのです。

そして愛？

愛は他のすべてよりも長く続く。私たちが最も壮大な夢を抱くとき
— あらゆる人間関係の修復、社会における信頼の再生、喜びの中で神が私たちの中にあること — これらすべての夢が実現したとき、私たちはもはや信仰や信頼、希望や期待を必要としなくなる。しかし、愛は永遠に続く。

たとえ完璧な社会があったとしても、私たちは依然として愛を必要とするでしょう。

そして愛の実践的な側面は連帯です。

近くにいる人も遠くにいる人も、共に立ち向かう。そう、たとえ信仰が違っていても、行動も見た目も声も食生活も違っていても、私たちは連帯感を抱く。そして私たちも彼らの連帯感を受け入れる。なぜなら、愛とは相互扶助でもあるからだ。

その中で最も偉大なのは連帯です。

ギリシャのレスボス島では、ドイツ系とオランダ系のメノナイト教徒が、より良い世界を求める移民やギリシャ人と深い連帯を築いてきました。それは、障壁や壁を乗り越え、人々が互いを思いやり、尊厳を尊重する世界です。ドイツ系メノナイト平和委員会 (DMFK)は、コミュニティ・ピースメーカー・チームと協力し、10年以上にわたりボランティアや代表団をレスボス島に派遣しています。現在、私たちは4人のギリシャ人「ソリダリアン（連帯者）」チームへの資金援助を行っています。

仕事はより困難になった。ニュースでは取り上げられなくなったが、これらの連帯活動家たちの活動はこれは非常に重要です。船の操縦を強いられた移民たちは「人身売買業者」というレッテルを貼られてヨーロッパに到着し、100年以上の懲役刑を宣告されることも少なくありません。私たちのチームは彼らを訪問し、家族と連絡を取り、弁護士を派遣し、デモを組織し、虐待の実態を記録しています。私たちのチームは愛と連帯を示しています。

— J. ヤコブ フェールは、ドイツ メノナイト平和委員会 (DMFK) のメンバーです。



MWC 内のフランス語圏の組織グループである Francophone Network の Max Wiedmer 氏 (後列右から 3 番目)。

地域社会の連帯

2023年6月、脾臓の近くに動脈瘤があると診断されました。手術を受けましたが、6ヶ月後、耐え難いほどの腹痛で目が覚めました。

アストリッド (妻)と私は、連帯が現実となっている家に住んでいることにとても感謝しています。

近所の人たちもそこにいました。

元消防士のベニーは、私が昏睡状態に陥らないように平手打ちをしました。

ジョシアンさんはアストリッドが緊急電話をかけるのを手伝いました。

内出血と感染が腹部全体に広がり、私は生死の境を2日半過ごした。

この状況は友人、教会の会員、教会関係者、そしてそれ以外の人たちにも知れ渡りました。

知らない間に祈りと連帯の連鎖が生まれていました！

アストリッド自身も、事態の深刻さをよく理解していました。彼女はこう証言します。「あの祈りは何と力強いものだったのでしょ
う！おかげで私たち家族はこの試練に耐え、希望を持続けることができました。すべての言葉、すべての息遣い、すべての嘆願は、全能の主によって聞き届けられ、神の恵みによって、神は肯定的に応えてくださいました。私たちの祈りは、この試練がマックスという名前だけで終わることなく、主の全能の力が明らかにされることを願うばかりです。」

振り返ってみると、私の回復に愛情を込めて尽力してくれたコミュニティと友人の存在がどれほど貴重だったか、改めて実感します。外科医たちはこれを奇跡と呼んでいますが、私たちも同感です！ジョシアンはアストリッドに哀歌3章22-23節の言葉を残して去りました。「主の慈しめは尽きることなく、その慈しめは尽きることなく、朝ごとに新しくなる。あなたの真実は偉大である。」

神の連帯は最高です。

—マックス・ヴィードマー、アルトキルヒのメノナイト教会、フランス



什一献金と献金のアイデア



ドイツ、ドレスデンのエヴァンゲリッヒ・メノニティシェ・フライキルヒェ教会は、2024年のアナバプテスト世界フェローシップ・サンデー祝賀行事の一環として、ベネズエラからの難民たちと屋外で食事を共にした。

MWCは、アナバプテスト世界連盟の日曜日に、世界中のアナバプテスト教会コミュニティのために特別な献金をお願いしています。この献金について考える一つの方法は、会員の皆様に、それぞれの地域で昼食1回分に相当する献金をお願いし、世界中のアナバプテスト教会ファミリーのネットワークと資源を支援していただくことです。昼食1回分を捧げることは、神に感謝を捧げ、教会を通して神の継続的な働きを支える、私たちにとってささやかな方法です。

一人当たり年に一度、「昼食1回分」（自国での価値）を寄付することは、飢饉や暴力の時を除き、ほとんどのMWC会員が行うことができます。より多くの資源を持つ人は、これよりもはるかに多くのものを寄付することができ、そうするよう奨励することもできます。資源が限られている人は、普段の食事を含めている品物1つ分の金額を寄付することを検討してみてもいいかもしれません。

あなたの会衆で特別な MWC 献金を計画する方法について、いくつかのアイデアをご紹介します。

1. 礼拝中、通常の献金とは別の献金として、1 つのランチ献金を正面の特別なバスケットに入れるか、文化的に適切なランチバッグ/容器に入れる計画を立てます。

2. アナバプテスト世界連盟の日曜日の礼拝の前か後に、会衆と一緒に食事をする計画を立てます。これは「ポットラック」方式で、各家族が料理を持ち寄って分け合い、MWC が食事の代金を「支払う」ための献金バスケットを用意する形式です。

家族が教会に持参したお弁当をオークションにかけたり、販売したりすることも可能です。これらのお弁当は、オークションに出品したり、誰でも購入または寄付して持ち帰ったり、礼拝後に皆で食べたりすることができます。

3. アナバプテスト世界連盟の日曜日の礼拝前または礼拝後の食事時間に、世界中の教会のために断食と祈りを共にする時間を計画してください。その時間には、アナバプテスト世界連盟への献金も含めます。この献金は、断食参加者が食べない食事の金額と同額になります。

各会衆でこの特別献金を通じて集められた資金は、当団体のウェブサイト (mwc-cmm.org/donate) に示されているさまざまな方法を使用して、メノナイト世界会議に直接送金することができます。

または、これらの資金をMWCに送金するよう依頼し、所属教会の事務所に送金することもできます。献金には、メノナイト世界会議への献金であることを明記し、アナバプテスト世界連盟の日曜献金であることを明記してください。



お祝いのアイデア

お祝いのアイデア

ここでは、ヨーロッパの教会が団結を示す象徴的な行動を伴って一緒に礼拝する方法をいくつか紹介します。



ヘンク・ステンバース氏が再洗礼世界フェローシップの日曜日に、オランダのドゥーブスゲジント・ゲメンテ・ブッスム・ナールデンで開催されるMWCと世界教会について語ります。

サービス中

オランダのドゥーブスゲジント（メノナイト派）の会衆では、礼拝の指導者が礼拝の始めに正面のテーブルに置かれたろうそくに火を灯し、礼拝の終わりにそのろうそくを吹き消します。

これらの動作をしながら、礼拝リーダーは次の言葉を話します。

私たちを支え、慰めてくれる光を思い起こすために、ろうそくに火を灯します。永遠の光の中で生きましょう。

または

私たちは、お互い、神、自分自身、そして世界との絆の証としてろうそくに火を灯します。

私たちはろうそくを吹き消しますが、その光を心の中に持ち、世界に伝えます。

礼拝後

ポットラックパーティー

私たちは月に一度、Gemeinschaftssonntag

（親睦日曜日）を祝います。

皆が何か食べ物（サラダ、ケーキ、デザート、シチューなど）を持ち寄り、大きなビュッフェを用意します。礼拝後は、礼拝堂から椅子を移動し、テーブルを設置します。

ゲストも含めて、みんなが食事に招待され、今のところみんなお腹いっぱい食べています！たいていは残り物もたくさん出るので、持ち帰る人もたくさんいます。

食事の後、午後中ずっと教会で過ごす人もいます。子どもも大人も芝生の上で遊んだり、一緒に座ったりします。

午後には、教会の建物周辺にお住まいの方や、ハイキングに来られる方のためにカフェを開くこともあります。こうして、見知らぬ人、家族連れ、地元の方、教会に通う方々など、様々な人が集い、活気あふれるコミュニティが生まれます。神の霊が働く、会話や出会いの機会がたくさんあります。

—Joel Driedger, Mennonitengemeinde Karlsruhe-Thomashof eV, カールスルーエ、ドイツ



私たちはここ数年、レーゲンスブルクのメノナイト教会での礼拝後に持ち寄りランチのために集まっています。

楽しい仲間とおいしい食事を楽しみたい方は、ぜひご参加ください。

ランチはWhatsAppグループを通じて非常にカジュアルに企画されます。

このグループは、ランチに定期的に出席し、喜んで何か貢献してくれる人々で構成されています。

礼拝の3〜4日前に、何を食いたいかをみんなで決めます。例えば、日曜日はスープ、パスタとライスに色々なソースをかける、あるいはホットドッグとサラダだけ、などです。もちろん、デザートは欠かせません。

ランチにはどなたでも、思い立ったらすぐにでもご参加いただけます。特に、初めてこの礼拝にお越しになる方を歓迎いたします。

そのため、一緒に食事をする人数は異なりますが、これまでのところ全員が常に満足しています。

こうした共同屋食会は、私たちの教会にとって非常に貴重な機会です。お互いをより深く知り、楽しい会話を交わす機会となります。特に世代間の交流は素晴らしいものです。美味しい食事は、幼稚園児から高齢者まで、人々を結びつけます。

—レナ・シュムツツ、メノナイト教会
レーゲンスブルク、ドイツ

レシピドイツ

沈んだアップルケーキ

1. マーガリン125gと砂糖125gを混ぜ、卵3個を加えて混ぜ続けます。
2. 小麦粉200gとベーキングパウダー小さじ2杯を混ぜて生地混ぜ込みます。
3. 牛乳大さじ2杯を加えて混ぜます。

4. リンゴ5個の皮をむいて半分に切り、芯を取り除いてフォークで切り分けます。
5. 丸いベーキングパンに油を塗り、生地を流し込み、半分に切ったリンゴを生地の上に置きます。
6. 200°Cまたは390°Fで40〜50分焼きます。

ポルトガル
ウォッシュド（ガスパチョ）

材料・トマト 3
個・ピーマン 3個（緑
と赤、辛いものは不可）・ニンニク 3かけ・エキストラバージンオリーブ
オイル（ポルトガル、スペ
イン、イタリア、ギリシャ産が望ましい）・生ハム 200グラム・ハー
ドパン 1斤（古いほど良い）・水・氷

作り方 1. 大きめ

のサラダボウルにニンニク3かけを潰し、オリーブオイルを加えます。（大さじ2〜3杯がおすすめです。）

2. トマトを小さく切り、ピーマンを細切り（種を取り除く）、生ハムを角切りにして、ボウルに入れます。
3. パンを中くらいの大きさの立方体に切ります。
4. パンを加える前に、ボウルに冷水を注ぎ、大きなスプーンで全体を混ぜます。
5. すべてがよく混ざったら、パンを加えて浸します。
6. 鮮度を保つために氷をいくつか追加します。

これは素晴らしくて新鮮な夏の料理です。このレシピは、愛する母から教わりました。母はポルトガルのアレンテージョ地方の内陸部出身で、そこではガスパチョではなく「ラヴァダス」と呼ばれていました。当時は食材が乏しかったので、人々は手に入るものを食べていたのです。

—José Arrais, MWC ヨーロッパ地域代表



**Mennonite
World Conference**
A Community of Anabaptist
related Churches

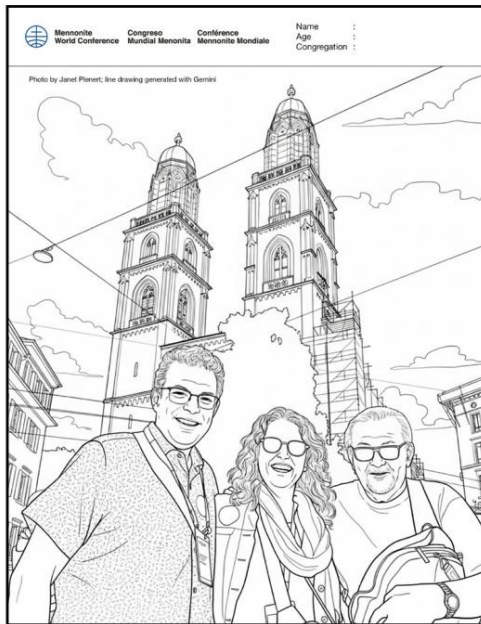


アナバプテスト
世界フェローシップ
日曜日

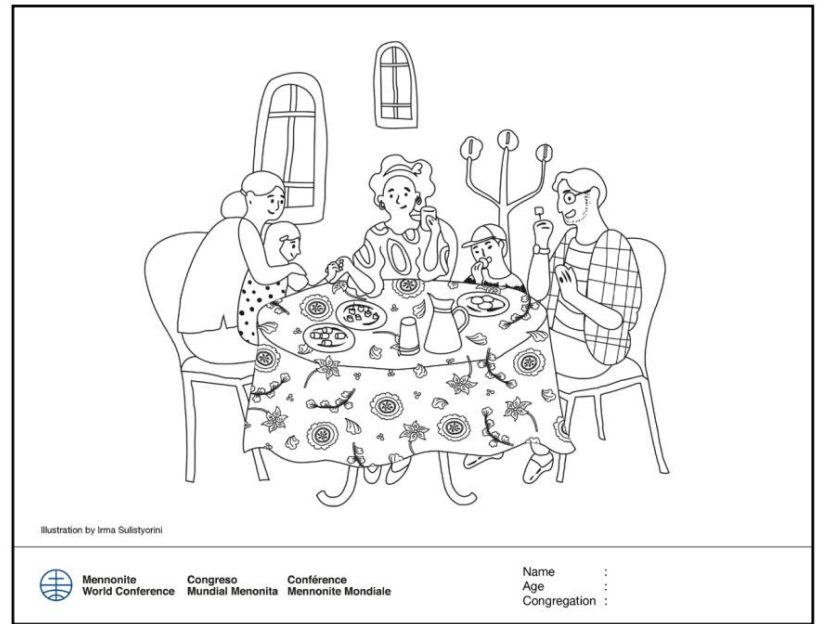
mwc-cmm.org

子供のアクティビティ

ぬり絵ページA



ぬり絵ページB



ファイルをダウンロードするには画像
をクリックしてください。
ぬり絵 :MWC



ファイルをダウンロードするには画像をクリックしてください。
ぬり絵 :MWC



追加リソース

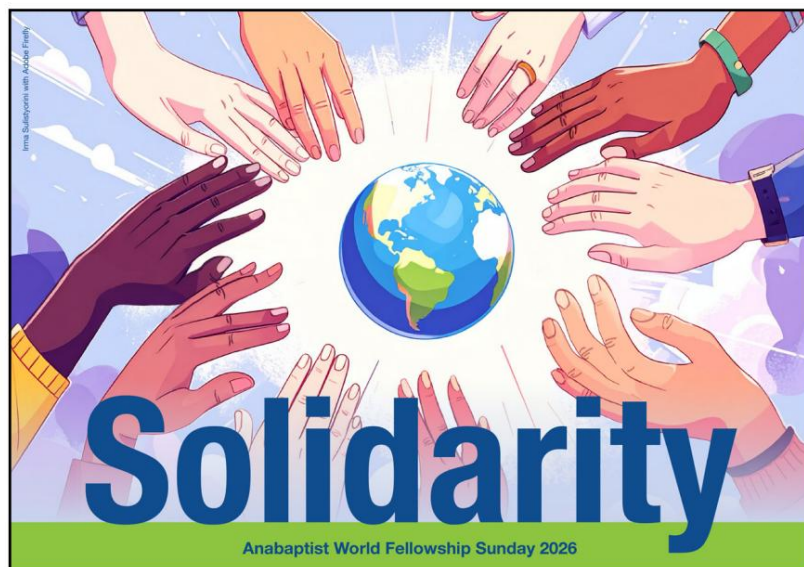
ポスターA



ファイルをダウンロードするには画像
をクリックしてください。

ぬり絵 :MWC

ポスターB



ファイルをダウンロードするには画像をクリックしてください。

ぬり絵 :MWC

